



勝高 Voice 第5号

夢現 2025.1.15 プロジェクト



落合中出身
奥田大智

▼勝山高校独自の活動である「夢現プロジェクト」は自分で設定したテーマを調べ深めていくもので、とても楽しいと思います。ただ調べるだけでなく実際に体験したり、聞き取りをしたり、実験を行ったりすることで自分たちのテーマをより深める事ができます。また活動を通して、仮説に反する結果や思わぬつながり、関係性が見つかることもあり、様々な疑問や気付きを得ることが出来ます。グループのメンバーが持つ個性を活かしながら一つのテーマについて取り組むことは、とても楽しいことでした。



久世中出身
岩野明里

▼「夢現プロジェクト」を通して、困った時に人に頼る大切さを学べたことが、私にとって大きな収穫でした。同じグループの友達や先生、時には地域の方々に意見を聞くことで、自分一人では思いつかないような発想を得ることが出来ました。もし人に頼ることがなければ、チームとして全員が同じ方向を向いてここまで探究活動を進めることはできなかつたかもしれません。人に頼ることは、お互いの信頼を高め合うことにも繋がります。たくさん頼らせてくれたグループの友達には、感謝の気持ちでいっぱいです。このような経験を社会に出る前の高校生のうち積むことができ、本当に良かったと感じています。

✓勝山高校では、「総合的な探究の時間」を「夢現(むげん)プロジェクト」と呼んでいます。自分の夢、興味・関心などから、職業・学問を知り、そこから関連するニュースや普段の生活の中での課題を見つけます。そして、生徒自らが問いを立て探究のテーマを設定し、探究活動を行います。探究活動における研究結果は、ポスターセッションやレポートにして発表します。各年次の秀逸な研究グループは、勝山文化センターのポンテホールでも発表を行います。